



第1回テーマ「長崎のまちじまん・文化じまん」



ワークショップの意見紹介（一部抜粋）

チーム名	長崎のまちについて		長崎の文化について		
カステラ	自慢	<ul style="list-style-type: none"> 路地のお花が綺麗 景色が良い タクシーが拾いやすい 電車賃が安い バスの便が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 魚がうまい 練り製品が多い コンパクト 歴史溢れる町・海がきれい キリスト教のまち 	<ul style="list-style-type: none"> 中国文化が日常にある 教会の鐘、お寺の鐘が同じ時を刻む町 甘さの文化（シュガー） 桃カステラ 	<ul style="list-style-type: none"> お祭りが独特 福山雅治が生まれた 長濱ねるのまち 日本最古の〇〇がたくさん 意外と市民団体が多数
	不満	<ul style="list-style-type: none"> 僻地までのバス代が高い 車いすの方が電車に乗りにくい（駅前） 山手の観光に交通の便をもっと図って！ 	<ul style="list-style-type: none"> 坂が多い→不満 階段が多く高齢者はつらい 観光客への案内が不十分 道が狭い、坂が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 祭とエキゾチックをPR！ くんちをもっとPRして！ 有名なお菓子のPRして！ 長崎の魚、船を使ってPR！ 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの活動場が少ない ママの憩いの場が欲しい ピアノが置いてある施設が少ない、使用料が高い 自分から発信する文化でない
ハトシ	長崎のまちについて		長崎の文化について		
	自慢	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的建造物がいっぱい 名所、旧跡が近場にある 夜景（稲佐山や立山から） 電車、バス停が近い 観光に路面電車が便利 	<ul style="list-style-type: none"> 寺町通、中島川の川沿い 南山手の景色 多くの島、海、坂道 町が狭いので散策しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 交流（貿易）の歴史が古い 文化、宗教が混在している 食べ物が美味しい 多国籍のお菓子 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物が美味しい 多国籍のお菓子 市立図書館入口ロビーは利用者が多い（ソファ前）
不満	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が他の人と気軽に交流できる場がない 交流できる施設がない 公園（緑）が少ない 高層の建物が増えている 		<ul style="list-style-type: none"> 市民が文化施設にいかない 利用できる施設が少ない リモートワーク可能な自習室がほしい 		<ul style="list-style-type: none"> 無料、低価格で使用できる場が少ない 音が出せる場を 公会堂が無くなり発表の場が少なくなった
ミルクセーキ	長崎のまちについて		長崎の文化について		
	自慢	<ul style="list-style-type: none"> 寺、教会、神社がたくさん 観光地がたくさんある 水辺の森公園と県立美術館は素晴らしい 外国の方が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 海から客船が入ってきた時の美しさ 坂を登れば見晴らしがよい 景観が素晴らしい 電車でもどこでも行ける 	<ul style="list-style-type: none"> 県外の人に魚が美味しいとよく言われる お刺身が美味しい 都会と比べてもお食事が美味しいと思う 手頃で美味しいものがたくさんある 長崎出身の著名人が多い 	
不満	<ul style="list-style-type: none"> 買い物や遊び、観劇やライブ、何をやるにも福岡 佐世保や島原へ遠い 空き家が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 道が狭い、危ない所が多い 観光県なのに古い物を残さない 公園のトイレが汚い、広場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ホールが少ない レッスン場所が少ない ピアノがある練習場が少ない 文化施設がない →文化が発展しません 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が県外へ出ていく 大学生の存在があまり感じられない 障がい者との交流の場が少ない バリアフリーが少ない 	
よりより	長崎のまちについて		長崎の文化について		
	自慢	<ul style="list-style-type: none"> 魚が新鮮でおいしい 郷土料理がおいしい 人情がありやさしい 歴史 	<ul style="list-style-type: none"> 景色が美しい 桜並木が多くある 夜景がきれい 教会が多く、美しい建物がある 	<ul style="list-style-type: none"> 古来からの祭りがある 伝統芸能を続けている 長崎の民謡がたくさんある 	<ul style="list-style-type: none"> マダムバタフライなど長崎ゆかりの音楽が存在する 子ども達のダンススクールがたくさんある
不満	<ul style="list-style-type: none"> 散歩コースの道路の整備が悪いところがある 狭い道が多い、キャッチボールできる広場が無くなった 親子連れで気軽に集まれる場が少ない 若いアーティストが活躍する場所が少ない ワクワクできる刺激的なイベントが少ない 		<ul style="list-style-type: none"> 小(100-200)中(300-500)のホールが少ない 専門性のあるホールがない ブリックホールの自主事業が少ない 長崎市の文化の助成金がいづらいい 長崎県と市の文化の方向性が見えない 		
ちゃんぽん	長崎のまちについて		長崎の文化について		
	自慢	<ul style="list-style-type: none"> あたたかい人 暮らしやすい ハーフでも、外国の子でも受け入れやすい雰囲気 	<ul style="list-style-type: none"> 気候が温暖 地域の環境が良い 夜景 坂のまち 山からの景色 	<ul style="list-style-type: none"> 隠れキリシタンの歴史 歴史的なまちなみ 「蝶々夫人」 熱心な平和教育 平和を発信 	<ul style="list-style-type: none"> おくんちが素晴らしい ランタンフェスティバル 国際色豊かで互いを尊重 和・華・蘭の文化の融合
不満	<ul style="list-style-type: none"> 人口が減り続けている 就きたい仕事がない 新しいことに疎い 学校が少ない 遊ぶところが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> マンション建ちすぎ 空き家が多くてもったいない、活用してほしい 土地が高い 移住応援してほしい！ 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡に行かないといい芸術に触れられない！ 防音の貸室が少ない 安価な会議室が少ない 練習場所が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> 「蝶々夫人」が知られていない せつかくの歴史的建造物が目立たない 施設にWi-Fiが無い 	
皿うどん	長崎のまちについて		長崎の文化について		
	自慢	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物はまちがなくて、日本一うまい町です！ 海も山も両方楽しめる 長崎の海はとてドラマチック 	<ul style="list-style-type: none"> 長崎がもつ歴史 和・華・蘭：文化が特色 古い電車が走っていること 路面電車がかわいい 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化、古典芸能が他県より盛ん。しかし今後が不安。 長崎くんち 精霊流し オペラ・マダムバタフライの舞台 	
不満	<ul style="list-style-type: none"> 夜お店が閉まるのが早い→観光客減少？ 働く場所が少ないこと→若者流出？ 石橋から長崎駅まで乗換ないしの路線がほしい 歴史あるまちづくりが計画されたいない 		<ul style="list-style-type: none"> クラシックの認知度が低い 響きのよいホールがない 自分の得意分野以外に関心が少ない 長崎の歴史にこだわりすぎている？そこから抜け出してもっとグローバルな文化を生み出したい！ 		

長崎市では、新たな文化施設の整備を進めており、令和元年7月に基本構想策定、令和2年1月に新たな文化施設の建設場所を現市庁舎跡地に決定しました。現在は、令和3年秋の策定を目標に基本計画のための検討を進めております。

そして、令和3年3月20日、緊急事態宣言等の発令により延期が続いていた「長崎市新たな文化施設を考える市民ワークショップ」がようやくスタートしました！本ワークショップは、

- どんな事業が必要？
- どうすれば利用しやすい？
- どんな設備が必要？
- などなど：ソフトからハードまで多くのテーマを設定し、日常的に文化活動をされている方、そつでない方、老若男女さまざまな立場の市民からご意見を伺うことを目的としています。

また、今回のワークショップは長崎市民のファシリテーターさんにもご協力いただいております。各グループに1人ずつ入り、進行、まとめ、そして盛り上げまで！サポートしていただきました。

発行：長崎市民文化振興課
編集：株式会社シアターワークショップ

第1回目はアイズブレイクもかねて「長崎のまちじまん・文化じまん」というテーマで話し合いをしていただきました。長崎市の文化施設をつくるために、まず長崎がどんな場所なのか、市民は何に誇りをもち、どんな不満を抱えながら暮らしているのかを見つめ直すことが必要です。

そして、左記のまとめ表にあるように、6つのグループからは模造紙いっぱい熱い思いがたくさん出てきました！自慢ポイントについては、「景色が綺麗」「食べ物美味しい」「様々な宗教や文化が混ざりあっている」「気候が温暖」という意見が多く上がっていました。一方、不満については、「若者の流出」「遊ぶところが少ない」「公園や屋外施設が少ない」という意見がありました。また、文化施設に対する不満や要望が最も多く、ほとんどのグループから「練習室不足」「ホール不足」との発言がありました。

事務局一同、皆様からのご意見を真摯に受け止め、一つでも多くそれらを反映できるように検討を進めてまいります。ワークショップメンバーの皆さま、お忙しい中ご参加いただき有難うございました！

第2回テーマ予告
「新しい文化施設でやりたいこと、やってほしいこと」

今回のワークショップが単なる「ガス抜き」の機会ではなく、本当に市民の意見として取り上げられることを期待しています。

スマートシティを目指してほしい。キャッシュレス決済、通信フリーは当然のように...

大学生の自分より年齢が高い人が多く、実直で鋭い意見を持ってきている人が多かった。良いところは共通の認識があつて、不満は多種多様であつた。でも情報発信が大事なことが分かった。

様々な分野の方の視点と熱量を知れたことが嬉しく有意義でした。

グループ内で自由に日頃思っていることを言えて良かった。色々な人と交流できて良かった。新しい文化施設に期待している。ワークショップを活かされると良いですね。